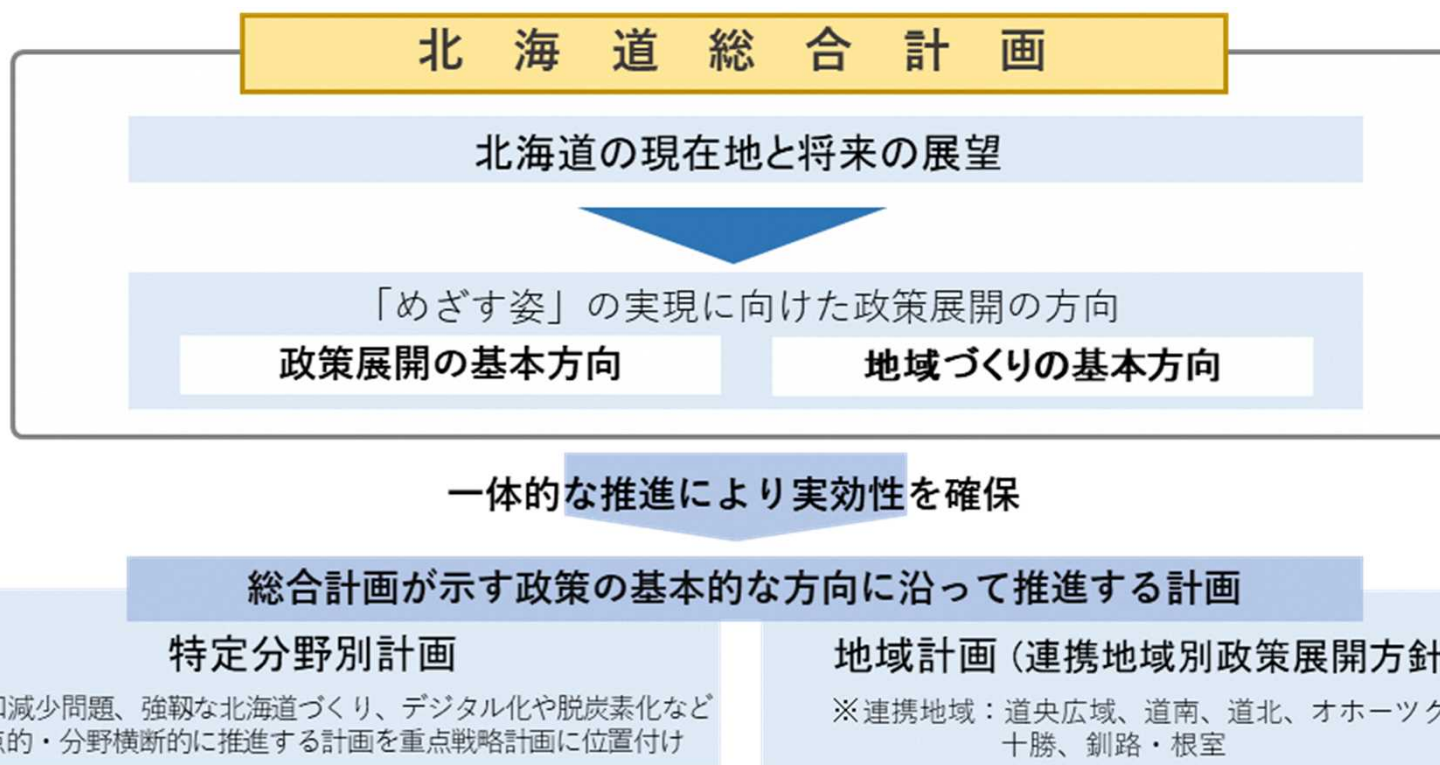


新たな北海道総合計画について

2024年6月

北海道空知総合振興局地域創生部

- ・概ね10年後の「めざす姿」を掲げ、実現に向けた政策展開と地域づくりの基本方向を総合的に提示
- ・別に策定する特定分野別計画や地域計画と一体的に推進し実効性を確保



見直しの背景

- ・現行の総合計画は2016年度から2025年度までを計画期間として推進
- ・不安定な国際情勢を背景とした、社会や経済の大きな変化や、人口減少・少子高齢化の進行による、地域の担い手の不足などの課題への対応が必要な状況

現行計画のさらに先を見据えた政策を展開する必要

今年(2024年)夏頃を
目途に決定

めざす姿、政策展開の基本方向

<めざす姿>

北海道の力が日本そして世界を変えていく
一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る

めざす姿実現に向けた政策を体系化

政策展開の基本方向

潜在力発揮による成長

食、観光、ゼロカーボン、デジタル、
ものづくり・成長分野、産業活性化・業種横断分野

誰もが可能性を発揮できる 社会と安全・安心な暮らし

子ども・子育て、教育・学び、医療・福祉、
就業・就労環境、中小企業・商業、安全・安心

各地域の持続的な発展

地域づくり、グローバル化、北海道の強靱化、
社会経済の基盤整備、自然・環境、歴史・文化・スポーツ

 人材の育成・確保

地域づくりの基本方向

個性と魅力を活かした
地域づくり

様々な連携で進める
地域づくり

地域づくりの方向性

道央広域連携地域〔空知、石狩、後志、胆振、日高〕

地域のめざす姿

高い価値を持つ文化・歴史を受け継ぎながら、デジタル関連産業の集積など本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」



地域づくりの方向

空港・港湾などの物流拠点や大学・企業等の研究・開発機能が集中する立地環境の優位性を活かした半導体などデジタル関連をはじめとする産業集積の促進及び産学官金連携の推進により、本道経済をリードする産業の活性化と雇用の場の創出や産業人材の確保・定着に取り組みます。

デジタル技術の活用やブランド化の推進により、地域の特色を活かした多種多様な農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊かな自然・資源を活用し、脱炭素化や経済の活性化の両立を図り、持続可能な地域づくりを推進します。

新幹線札幌開業も見据えながら、全国的に有名な温泉地、アイヌ文化、ジオパーク、産業遺産、縄文世界遺産、国立・国定公園など多彩な地域資源を活用した観光振興や文化・歴史の継承・活用を図ります。

防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備、持続的な地域交通・物流の維持確保、地域医療の充実や子ども応援社会の推進など、安全・安心で住みよいまちづくりを進めます。

空知地域＜重点的な施策の方向＞

スマート農業の普及拡大や脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの導入をはじめとした地域の特性を活かした産業振興や、新規高卒者の地元への就職を促進するなど人材の確保・定着を推進します。

また、米や花きなどの農産物や「そらちワイン」、日本遺産「炭鉄港」など、地域資源を活かした空知ブランドの強化や、ワーケーションの推進など、関係人口の創出・拡大を図るとともに、地域医療や生活交通の確保など、安心して住みよい暮らしのできる地域の形成を推進します。